

科目名	地域理学療法学	担当教員	世古俊明 村上亨 ※印は実務経験のある教員を示す。			
-----	---------	------	---------------------------------	--	--	--

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	後期	2単位	講義

科目概要	急速に進行する少子高齢化により我が国の社会構造は大きく変化し、保健・医療・福祉・介護領域にも影響を及ぼしている。理学療法を必要とする対象者は増加し、住み慣れた地域で生活できるよう支援するための地域理学療法の充実が必要であり、本科目では自宅で生活するために、介護保険法や障害者総合支援法などの制度を活用した、医療だけではなく保健、福祉、介護における理学療法の支援方法について学び、幅広い視野をもって地域社会に奉仕する理学療法士に興味・関心を広げる。
学習目標	①高齢者や障がい者が地域で暮らすことをイメージすることができる。 ②生活障害とは何かを理解し、理学療法士として支援する方法を理解することができる。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験 教員担当 項目
1	理学療法各論 1	介護保険制度と理学療法との関わり①	急速に拡充する介護保険制度について、実態と課題について理解する。	
2	理学療法各論 2	介護保険制度と理学療法との関わり②	介護保険制度と理学療法の関わりや現状での役割、期待される役割を理解する。	
3	理学療法各論 3	福祉用具とその諸制度（福祉用具貸与）	介護保険制度に設けられているテクニカルエイド（特に福祉用具貸与）に関する、サービスの仕組みやその内容を理解する。	
4	理学療法各論 4	福祉用具とその諸制度（福祉用具購入費給付）	介護保険制度に設けられているテクニカルエイド（特に福祉用具購入費給付）に関する、サービスの仕組みやその内容を理解する。	
5	理学療法各論 5	福祉用具とその諸制度（住宅改修費給付）	介護保険制度に設けられているテクニカルエイド（特に住宅改修費給付）に関する、サービスの仕組みやその内容を理解する。 住宅改修の範囲を理解する。	
6	理学療法各論 6	オリエンテーション 理学療法における障害の捉え方	対象疾患に関わらず、理学療法士の役割や目指す目標について説明することができる。	
7	理学療法各論 7	生活障害について	「生活障害」の概念を理解する。	
8	理学療法各論 8	地域：在宅における生活障害と生活機能向上のための理学療法士の役割	1. 地域：在宅における生活障害について理解することができる。 2. 生活障害改善のための理学療法士の役割について理解することができる。	
9	理学療法各論 9	ICF と生活障害	1. ICF についての理解を深める 2. ADL・QOL・ICF の関連を理解する。 3. ICF 中の参加が生活目標に直結することを理解する。	
10	理学療法各論 10	訪問リハビリテーション	1. 訪問リハビリテーションの概要について理解する。 2. 訪問リハビリテーションの特性について理解する。	
11	理学療法各論 11	通所リハビリテーション	1. 通所リハビリテーションの概要について理解する。 2. 通所リハビリテーションの特性について理解する。	
12	理学療法各論 12	地域包括ケアシステム	地域包括ケアシステムの概念について理解する。	

13	理学療法各論 13	終末期の地域リハビリテーション	1. 高齢者の尊厳について理解する。 2. 高齢者を死が間近な存在として捉え、理学療法やリハビリテーションのあり方について考える。	
14	理学療法各論 14	障がい者スポーツと理学療法①	パラリンピックに焦点をあてて、障がい者のQOLを考える。	
15	理学療法各論 15	障がい者スポーツと理学療法②	パラリンピックに焦点をあてて、障がい者のQOLを考える。	
評価方法		筆記試験(100%)		
教科図書		なし。資料を配布する。		
参考図書		伊藤日出男, 他 : PT マニュアル地域理学療法学, 医歯薬出版 牧田光代 (編) : 標準理学療法学専門分野 地域理学療法学, 医学書院 日本理学療法士協会 : 理学療法白書		
学習の準備		授業ではグループワークを取り入れるので、積極的に参加すること。今後、臨床実習を念頭に授業を受けること。		
オフィスアワー		村上 講師 : 質問がある場合は授業終了後に直接質問するか、用紙にて提出すること。可能な限り対応。 世古 講師 : 在室時は可能。		
担当教員欄に※印を附した教員の実務経験				